

<学校ホームページ> (<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/ss/hongo/>)  
教育活動の様子や学校からのお知らせ等を発信しております。



学校だより 第 1 号

令和 8 年 4 月 17 日

# ほんごう

横浜市立本郷特別支援学校  
校長 菅井 昭宏



<学校教育目標>

家庭、地域、社会で豊かな生活ができるように3つの力を身につけます。

☆わかって動ける力 ☆適切なコミュニケーション力 ☆心身ともに健康・安全に生活する力

お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。

入学式・始業式の日「入学・進級にあたって」で挨拶をさせていただきましたが、この4月に校長として着任しました菅井昭宏です。改めてどうぞ、よろしくお願いします。

## 柔らかな心で 子どもを見る

### よいところ探しの始まり

校長 菅井 昭宏

新しい場所に戸惑いながらも、先生たちに励まされ、始業式を行う体育館まで歩を進めて行く姿  
朝、お友達がスクールバスを降りてくるまで、他の友達や先生と手をつないで上手に待っている姿  
自由時間に自分でタイマーをセットし、ホールでダンスを楽しみ、時間が来ると満足して教室に戻る姿  
朝の支度が終わると、自分でパズルを取り出し、穏やかに楽しんでいる姿  
気持ちが優れなくて、一度は泣いていたけれども、時間が経つと笑顔で朝の会に参加する姿 などなど…

7日に始業式・入学式が行われてからの数日間、子どもたちが気持ちをありのままに表したり、これまで身に付けた力を発揮したりする姿に心を動かされています。

本郷に集う子どもたちの姿を見るときこの詩を思い起こします。

#### 『未完の姿で完結している』 (元群馬県立伊奈小学校 大槻武治)

ああでなければならない こうでなければならないいろいろな思いめぐらしながら子どもを見るとき  
子どもはじつに不完全なものであり 鍛えて一人前にしなければならぬものようである  
いろいろなとらわれを捨て柔らかな心で子どもをよく見るとき  
そのしぐさのひとつひとつがじつにおもしろく はじける生命のあかしとして目に映ってくる  
『生きたい、生きたい』『伸びたい、伸びたい』と全身で言いながら  
子どもは今そこに未完の姿で完結している

この詩にあるように、私たち本郷の教職員は、まず子どものありのままの姿を受け止め、寄り添い、子どもの「よさ」を生かしたり、伸ばしたりする存在でありたいと思います。

始業式では子どもたちに「自分や友達のよさやすてきなところを見つけてください」と話しました。日々、一時間一時間、その瞬間ごとに、子どもたちのこうありたいという思いやよさを見つけ、価値づけていくことを続けていきます。学校で、家庭で、地域で、それぞれの場で、みんなで本郷の子どもたち一人ひとりのよさや小さな変容を価値づけ、あたたかく関わりあい、「つながり」をもつことができますように…。

## 副校長先生の紹介

新着任 副校長 佐藤 大

4月1日、本郷特別支援学校に着任した時には、玄関前の桜がきれいに咲いていました。本校に集うみなさんの新たなスタートを祝っているようでした。新入学や新しい学部への進学、進級とそれぞれの新たな出会いがあり、新しい生活がスタートします。

子どもたち一人ひとりが安心して学校生活を送り、学ぶことの楽しさや、人と関わる大切さを感じられるよう、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。うれしいことも、困ったことも、子どもたちや毎日子どもたちを支えてくださっている保護者のみなさまの声に、丁寧に耳を傾けながら支えていきたいと考えています。

学校での教育は、家庭や地域のみなさまのご理解とご協力があってこそ成り立つものです。何かお気づきのことがありましたら、どうぞお気軽に学校へお声がけください。

どうぞよろしく申し上げます。



## 先生のご紹介



今年度の中学部・高等部での英語学習担当のAET (Assistant English Teacher) と、小学部での国際理解教室担当のIUI (International Understanding Instructor) を紹介します。1年間よろしく願いいたします。

A E T Lu Thatcher (ルー サッチャー) 先生

I U I ナタリア クリッスナワティ 先生

## ご協力お願いいたします！

- ・本校周辺道路は、地域の方の生活道路や近隣幼稚園の通園路となっています。歩行者などに十分注意していただき、安全な速度で車の走行にご協力ください。
- ・学校に電話をする際には、もう一度、電話番号をお確かめください。

本郷特別支援学校：045-894-2952

## わたしたちは、ハラスメントをゆるしません！

「ハラスメント相談窓口」を設置しています。お気軽にご相談ください。

☆児童生徒・保護者の校内相談窓口

佐藤 大 (副校長)・寺尾 志穂 (コーディネーター)・鈴木 由喜 (養護教諭)

☆教育委員会事務局教育総合相談センターの一般教育相談も、ハラスメントの相談窓口として利用できます。月～金9:00～17:00 (祝日・振替休日を除く)

教育総合相談センター(一般教育相談窓口)045-624-9414

【給食部からのお願い】中学部や高等部で給食の白衣をご使用の場合、ご家庭にて準備のご協力をお願いいたします。

学校教育目標	家庭、地域、社会で豊かな生活ができる力を育てます。 ○わかって動ける力(知) ○適切なコミュニケーション力(徳、公、開) ○心身ともに健康・安全に生活する力(体)											
	学校概要	創立 47 周年	学校長 菅井 昭宏	副校長 阿部 誠 佐藤 大	2 学期制							
	幼児・児童・生徒数:	193 人	幼稚部:	人	小学部:	93 人	中学部:	50 人	高等部本科:	50 人	専攻科:	人

<b>教育課程全体で 育成を目指す資質・能力</b>	<b>育成を目指す資質・能力を踏まえた 「12年間で育てる子ども像」と具体的取組</b>
<生活力> <自己実現力> <コミュニケーション力> <自己調整力>	自分の思いを表出できる子ども 他者とのつながりを感じ、認める子ども 自分の課題解決に取り組む子ども ・それぞれの子どもに合った表出が支援できるように、意思決定支援プログラムやアセスメント方法の研究を行う。 ・教育課程改善を行い、各学部の学びのバランスや個別教育支援計画・指導計画との運動を検討する。 ・地域や外部人材とともに12年間のかかわりの中で、良好な関係を育む。

<b>中期取組目標</b>	○卒業後を見据え、小学部から高等部まで一貫した指導を行います。 ・個に応じた指導を充実し、自分の気持ちや考えを表現する力を育てます。 ・一人ひとりが安心できる環境をつくり、自己有用感をもち、楽しい学校生活が送れるようにします。 ・運動する機会を多く設け、体を動かす楽しさを実感するとともに、自ら体を動かそうとする意欲を高めたり、体力の向上を図ったりします。 ・近隣校の児童生徒や地域の方、ボランティアの方とともに活動する経験を通し地域とのつながりを強めます。 ・人のかかわりの中で、自分の好きなことや得意なことを伸ばそうとする態度を育てます。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>知 個に応じた指導</b> 担当 教育課程推進・教育研究部	①個別の指導計画において、改善した教育課程の運用と合わせて、教科の目標について学級・学年、学部ならびに学校全体で共通理解を深め、本人や保護者の思いを受け止め、共有しながら作成・支援、評価を行う。②「教育課程改善」を校内研究のテーマとし、学校教育目標の具現化に向け、各学部の系統性を大切に研究に取り組む。③特別支援教育の専門性や障害特性を理解した指導力の向上をめざし、職員研修の充実を図る。
<b>徳 人権教育</b> 担当 人権・交流教育部	①自ら選択したり、できることを増やしたりする体験を通し、自尊感情や自己有用感を育む取組を推進する。②保護者、地域とふれあう活動を大切にするとともに、副学籍交流、学校間交流、校外学習等を通し、地域で出会う「人」とのつながりを生かした学習を展開する。
<b>体 食育・健康教育</b> 担当 給食部/保健体育部/保健部	①摂食指導や食材体験を通して、食への意識や興味関心のさらなる拡大を図るとともに、健康に良い食事や食育について情報発信を行う。②指導内容の共有を図り、体力の向上を目的とした活動の幅を広げる。積極的に運動に取り組む機会を設け、体力づくりへの意識を高める。③児童生徒の健康状態の把握、共有に努め、様々な病気の予防や拡大防止に取り組む。授業や日常生活の指導を通して、正しい生活習慣の形成や自分の身体や健康についての意識を高める。
<b>公 自分づくり教育 (キャリア教育)</b> 担当 キャリア教育部/地域進路支援部/	①児童・生徒自身が活動に対して目標設定や振り返りを主体的に行えるようにキャリア・パスポートを活用する。②進路専任を中心として、各関係機関と連携しながら事業所見学を主催し進路オリエンテーションや進路座談会をニーズに応じた形で実施する。③タブレット端末を活用し、個々の特性に応じた意思決定支援の取組を実施する。
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止対策委員会	①いじめ防止対策委員会を開催し、他害や不登校等も含め情報共有を図り組織的な対応を行う。②学校いじめ防止基本方針を全教職員で共有し、人的関係や学校生活で困り感をもつ児童生徒の心情に寄り添い、チームで対応し、解決に努める。③教職員の人権感覚を磨くために、人権教育に関する研修等を実施する。
<b>人材育成・組織運営(働き方)</b> 担当 教務部・ICTコーディネーター	①初任研や年次研、メンターチームなどを通しての若手の育成、人材育成の観点を取り入れた研修を行い職員全体の育成に努める。教職員がコミュニケーションを図り、組織力向上につなげる。②教育実習生やインターンシップ生、介護等体験生等の教員を目指す学生の育成に努める。③グループウェアやICT機器を活用した会議や情報処理の工夫、時間短縮を図りながら、効率的な組織運営を目指す。
<b>センター的機能の取組</b> 担当 特別支援教育コーディネーター	①学校組織として横浜型センター的機能を担い、地域の小中学校等の子どもたちのコンサルテーションを行い学校支援に努める。②地域の関係諸機関との連携を通して、地域における障害児者の理解促進や日常生活における充実性の向上に寄与する。
<b>地域連携・学校協働活動</b> 担当 地域進路支援部/学校運営協議会	①本校の学校教育目標や児童・生徒、学校行事への理解を深めていただくために、地域に情報発信を積極的に行う。②学校運営協議会での学校関係者評価を具体的な改善につなげるために、委員が授業や行事を参観する機会を設け、良い学校づくりにつなげていく。③持続可能な形で事業所の方や地域の各関係機関に関わっていただき、地域協働していく中で多角的な授業展開を図る。
<b>安全管理</b> 担当 防災安全・生活安全部	①非常時の対応について保護者に周知する。避難訓練、緊急時下校訓練等を実施し、防災に対する意識を高める。また、防災倉庫内の非常用物資を計画的に入れ替える。②学校生活上の様々な場面を想定した実践的な訓練を行うことで日頃から安全意識を高める。全教職員の共通理解のもと連携を図りながら各自が様々な状況の中でも適切な行動に結びつけられるようにする。③児童生徒の安全面に関する報告について、校内データにアクセスするリンク集を活用しながら、必要な情報を迅速に共有し、対策について円滑に対応できるようにする。
<b>担当</b>	

## 5月、6月の予定



1	金	登校指導
2	土	
3	日	憲法記念日
4	月	みどりの日
5	火	こどもの日
6	水	振替休日
7	木	歯科検診（小4～6・高）
8	金	登校指導
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	運動会開閉会式演習
13	水	
14	木	運動会開閉会式演習予備日
15	金	短A（運動会前日準備）
16	土	第47回運動会(弁当)〔雨天時 月曜日課〕
17	日	
18	月	振替休業日（運動会）
19	火	
20	水	運動会予備日①〔雨天時 水曜日課〕
21	木	運動会予備日②〔雨天時 木曜日課〕
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	一次尿検査
26	火	
27	水	内科検診（小4～6・高）
28	木	歯科検診（小1～3・中）
29	金	心電図検査(小1・中1・高1・未検者)
30	土	
31	日	

1	月	開校記念日 開校を祝う会 登校指導
2	火	開港記念日
3	水	避難訓練
4	木	給食試食会 授業参観週間
5	金	登校指導 耳鼻科検診（全）
6	土	
7	日	
8	月	高短A
9	火	二次尿検査
10	水	ここカラ相談室
11	木	特別体重測定
12	金	リハ科相談
13	土	
14	日	
15	月	短A水泳指導開始(~9/25) 個人面談週間
16	火	短A
17	水	短A 内科検診（小1～3・中）
18	木	短A
19	金	短A ここカラ相談室
20	土	
21	日	
22	月	歯科巡回（小5・小6）
23	火	レントゲン（高1・未検）
24	水	避難誘導訓練
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	全校音楽集会

- ・運動会予行の名称が変更になり、運動会開閉会式演習となります。内容については、例年と変更はありません。
- ・運動会の日、児童生徒は担任とクラスの友だちと各教室にてお弁当を食べます。
- ・6/4（木）～6/12（金）は授業参観週間です。学年ごとに曜日を設定して行います。後日お知らせします。
- ・4/17現在の予定です。今後変更になる場合があります。なお、学校だよりは学校ホームページでも閲覧できます。